5.21

## (B) 日本事特許庁(JP)

の特許出額公開

# @ 公職特許公報(A) **庁内勢理委员**

平3-22486

Mint. Cl. 5 H 01 L 31/02

優先権主張

绘別記号

4 公開 平成3年(1991)1月30日

7522-5F H 01 L 31/02

審査請求 朱請求 請求項の数 6 (全4頁)

#### 表面事装可能なオプトデバイス の発明の名称

**の特 版 平2-136918** 

公出 版 平2(1990)5月25日 @1989年5月31日@欧州特許機構(EP)@89109834.5

ギュンター、ワイトル

ドイツ連邦共和国レーゲンスプルク、ブラシュヴェーク3 命発 明 岩 ドイツ連邦共和国レーゲンスブルク、ドクトルヨハンマイ の発明 者 フランツ、シエルホル

ヤーシュトラーセ14 ドイツ事邦共和国ベルリン及ミユンヘン(香地なし) 仍出 順 人 シーメンス、アクチェ ンゲゼルシャフト

60代 理 人 弁理士 富村 潔

- 表面実施可能なオプトデバイ
- 2. 特許請求の施国
- 1) 少なくとも1個の通信器および(または)
- 受信器(4)と、少なくとも2つの表質(6、 1) と、これらの少なくとも2つの表面(6、
- 7)の各々における少なくとも2個の電気機
- 子(2、3)とを備え、オプトデバイスがこ れらの2つの表類(6、7)の各々にて選択
- 的に実装可能であることを特徴とする表面実 猫可能なまプトデバイス。
- 2) 痕能 2 つの表面 (6、7) は互いに90° の角度を搭載していることを特徴とする雑求 項し記載のオプトデバイス。
- 3) 施設デバイスはトップルッカーとして使用 されることを特徴とする検求項1または2記 黴のオプトデバイス。
- 4) 前起デバイスはサイドルッカーとして使用 きれることを特徴とする請求項1または2記 -1-

## 種のオプトデバイス。

- 5) 寂記デバイスは光パリヤ河に使用されるこ とを特徴とする輸収項1または2更親のオブ トデバイス.
- 6) 病配デバイスはビデオ機器またはオーディ **ナ業器のナプトエレクトロスクリモートコン** トロール知に使用されることを特徴とする論 求項 1 または 2 記載のオプトデバイス。
- 3. 杂册の詳細な説明

(産業上の利用分野) 本森明は空災変勢可能なオプトデバイスに関す

#### 【健夫の技術】

パイスを含む.

SMD (表面実験デバイス) はプリント版モジ ュールの縁立技術に進する。 S M D はデバイスの ◆く無しい加工機式つまり表面実験ならびに新し い技術に適合しなければならない単変の世代のデ

金脂実施は挿入実験の従来技術の代わりに基本 抱いられるようになっている。 美商業装はリード

#### **結脚平 3-22486(2)**

基架しデバイスがリード線付きデバイスの代わり にプリント毎上に設置されることを意味する。そ れゆえ、デバイスはブリント板の両面上に配置さ れ得る。SMDを用いることによって他の利点が 得られる。つまり、プリント仮モジュールが小形 化し、製造が合理的になり、保報性が高まる。

EPPING HERMANN FISCHER

SMDデバイスは白動実装権によって加工され る場合には経済的に使用可能である。表頭実験の 利点はデバイス、プリント板レイアウト、音動実 塾、はんだ付け技術および試験が互いに裏和すれ ばする理多くなる。

表面実装可能なオプトデバイスはローロッパ特 許出願公開第0083627号公積によって公知 **788.** 

## (発明が解決しようとする課題)

しかしながら、この公知のデバイスは光をプリ ント板の方向に送信または受信することしかでき

そこで、本先明は、茶敷に設置され得るような 世間で述べた論師の多断実施可能なデバイスを禁

- 3 -

して平行に送信または受信するように他の実装権 式にて延板上に実験する(サイドルッカー)こと

本発明によるデバイスは反射光バリヤとして楽 軟に使用され得る。このような場合、かかるデバ イスは先送信器および先要信器を含む。

本発明によるデバイスは赤外光または可視光を 送信および(または)受信することが出来る。

本発明によるデバイスはデバイスが実践される **最初の参照に関して任意の方向に光を返信および** (または) 受信することが出来る。

本祭明によるデバイスは光パリヤ度に簡単に使 用され得る。

本発明によるデバイスは例えばビデオ機器また はオーディオ機器の知る機器をリモートコントロ ールするために簡単に使用され得る。

#### (\*\*\*\*1

次に、本機明の実施制を開催に基づいて評算に おまする.

**第1回は本会明によるデバイスの製作について** 

#### 供することを課題とする。 (課職を解説するための手段)

このような課題を解決するために、本発明は、

少なくとも 1 個の通信器および (または) 受信器 と、少なくとも2つの表質と、これらの少なくと も2つの表面の各々における少なくとも2個の電 気痛子とを構え、オプトデバイスがこれらの2つ の金面の各々にて選択的に実装可能であることを 体粉とする。

本無明の実施機構は請求項2以下に記載されて wa.

### (発明の効果)

本発明によるデバイスは少なくとも2つの表面 の一大にて漢訳的に英格に宝裳され暮る。従って、 塞筋機式に応じて、本発明によるオプトデバイス は光を種々異なった方向から受信しまたは誰々異 ガニを方面へ送信することが出来る。それがえ、 本数明によるデバイスは、光を拡板に対して垂直 な方向に送信または受信するように基板上に実装 したり(トップルッカー)、また、先を表面に対

- 4 -

説明するための機略関を示す。会属支持体(リー ドフレーム)1は後で東面実施可能なれプトデバ イスの電気端子2、3を有している。電気端子2 上には未送性数および(または)をは割るが物理 され、所謂ワイヤポンディング技術によって電気 歳子さに接続されている。 ボンディングワイヤ塔 統が行われた後、半導体基体、ポンディングワイ ヤおよび電気箱子で、3の一部分はブラスチック、 例えば熱硬化性プラスチックまたは熱可燃性プラ スチックによって一体注型される。これらのプラ スチックは健康体系のまり変面実施可能なまプト アバイスのパッケージ5を発露する、冷に質気器 子2、3が金属支持体1の残骸から分離される。 その後、電気線子で、3は、これらの電気機子で、 3がパッケージ5から突出している場合には、こ れらの電気指子2、3が炎面実施可能なオプトデ パイスの少なくとも2つの表面を、7上に位置す るように折曲げられる。

第2副ないし第4回は本発明によるオプトデバ イスの実施側について裁明するための概略図を示

---488---

#### ₩₩平 3-22486(3)

S.23

す。光送信義および(または)受信器4として半 単体デバイスが使用され得る。しかしながら、先 送信募および(または)受信罪4として他のデバ イスも同様に使用され得る。光速信器4老反射器 8内に記載することは有利である。この反射異8 は金属支持体1への押型または反射性プラスチッ クを増えた被職体によって形成され得る。金属支 砂体への排剤と、反射性ブラステッタを構えた被 理体とを組合わせ使用することも同様に可能であ ě.

EPPING HERMANN FISCHER

本発明によるデバイスが萎載し1、例えばブリ ソト級上にはんだ付けされる際に転倒しないよう にするために、電気拡子2、3は衰損6、7の質 み10内に把握され得る。しかしながら、はんだ 付けの間のデバイスの転換は、デバイスの負債 6、 7にこの表質を、7から突出する関系保持体9を かけることによっても無機に異立され得る。

本発明による表面実施可能なデバイスは所謂り フローソルグリングにもまたウェーブソルグリン グにも通している。

- 1 -イスを備えたビデオ雑器またはオーディオ機器を リモートコントロールするためのリモートコント ローラミルを示す。

オプトデバイスの電気機子はこれらの電気機子 が少なくとも2つの表面においてオプトデバイス の被覆体から変出するようにも形成され得る。例 えば、第1回の電気箱子2、3は金属支持体1の 技能から電気箱子2、3を分離した後にパッケー ジの2つの異なった製匠に2対の電気機子が突出 するように単級され得る。これらの2対の電気機 子はオプトデバイスの少なくとも2つの異なった 表面が基板に結合可能であるように膨減され得る。 毎にこれらの書面は連絡的に簡様する。

土を明によるオプトテバイスは特にエレクトロ ニク半単体デバイスに適用される。

#### 4、回面の商単な説明

第1妻は本発明によるデバイスの製作について 説明するための機略器、第2箇ないし無く誰は本 義明の実施側について展明するための機等間、無 5 匿および第6 匿は本発明の応用例について裁判

**観な網は本発明によるトップルッカー(Top** - L o o k a r ) 数デバイスを示す。第3瞬は本 数据によるサイドルッカー (Side-Look aょ)型デバイスを示す。第4回は電気端子で、 3がパッケージ5の内部からデバイスの裏面もの 方向へ変出して案内されて、その後表領6の一部 分を贈い、そしてデバイスの表面6、1の境界で 折曲げられ、最後に表面での一部分を覆うように されている獅子を示す。 従って、デバイスは食薬 8にておよび表面でにて蒸板11上に実装するこ とが出来る。

**デバイスが開発に複数値の多額を有し、これら** の異面の内それぞれりつの表質が1つの直ぐ誇り の表面に譲接し、そして少なくとも2個の電気権 子が複数値の表型上を疎いで確在するようにする \* FAR#A.

第5回は送信器12として光デバイスを備えか つ受信器13として光デバイスを備えた光パリヤ 4 R T.

第6国は光送候群15として本発明によるデバ

## - 8 -するための最低度である。

- 1 …金屬支持体
- 2、5…電気循子
- 4…先送信器および(または)是役器
- 5-1-1-1 6.7…金面
- 8 …反射器
- 9 -- 福華保持体
- 10-25
- 11…基版



24-0KT-2006 10:50



